

校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標
「夢をいただき、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成30年7月13日 No.16

学期末PTA、たくさんのご参加ありがとうございました。

ホームページ版は一部内容を変更しています。

先週、7月5日（木）は、1学期末のPTAでした。

たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度も、給食試食会、授業参観、全体会、母親委員会研修会、学級懇談というたくさんの日程が詰まった半日でした。子どもたちの学校生活の様子やこれまでの学校の取り組みが皆さんに伝わったとしたら幸いです。

これからも学校教育に対してのご理解、ご協力、何卒よろしくお願いいたします。

○ わくわく給食（給食試食会） 栄養教諭の先生のお話を聞いた後、みんなで会食をしました。



○ 授業参観 お家の方々が見ている中で授業を受けました。いつもより少し緊張して、いつもより少し張り切って頑張りました。



○ 母親委員会研修会 今年もバブルサッカーを行いました。子どもたちが大変喜んで取り組みました。



7月6日（金）指導主事要請訪問

7月6日（金）は、指導主事要請訪問が行われました。

能代市教育委員会より指導主事の先生をお招きして、3・4年生の算数の授業を職員全員で参観し、研究協議会を行いました。

3年生は「わり算を考えよう」、4年生は「四角形を調べよう」の授業でした。

4年生はいろいろな四角形に対角線を引いて、それぞれに違いがあることを熱心に追究している姿が素晴らしかったです。3年生は、解決方法を話し合う際に、よく考えて意見を出し合う姿に大きな成長を感じました。

複式の授業でどちらの学年とも熱心に学ぶ姿が印象的な1時間でした。みんなとても頑張りました。



【考えを出し合い、熱心に学習に取り組む子どもたち】

7月11日（水） 朴瀬地区地域防災協議会研修会

7月11日（水）は、地域より自治会長の皆さん、PTAの役員の方にお集まりいただき、朴瀬地区防災協議会研修会を開催いたしました。

講師は、能代市総務課防災危機管理室の室長様でした。

先週末から現在まで続いている西日本の豪雨災害のお話から、私たちが豪雨の際に、命を守るためにどのようなことに気を付けていくかを事例や映像と共に分かりやすく伝えてくださいました。

地域の防災力向上のために何が必要かということで、次の3点をお話してくださいました。

1 災害を知る。 2 地域を知る。 3 人を知る。

特に、2の「地域を知る」ということについては、日頃何気なく見ている所に危険があること、また、防災マップを出しているのに災害の際に活用されていないことなどを話してくださいました。

子どもたちにも聞かせてあげたい、とてもためになるお話でした。

保護者の皆さん、地域の皆さんも、今一度、能代市から出されているハザードマップを確認されて、防災についてご家庭で話し合っただけではいかがでしょうか。



7月12日（木）6年生モデルロケット打ち上げ体験

7月12日（木）、6年生は子ども館へ出かけ、モデルロケットの打ち上げ体験に行ってきました。竹生小、常盤小の6年生と共に行いました。

最初に、宇宙の授業を受けました。その後、エンジンを装填して、打ち上げです。

学校で作って持っていったロケットが空に向かって飛んでいきました。理科の勉強と共に、小学校生活の思い出となった体験だったと思います。

「宇宙の町」能代市ならではの、学習活動でした。

